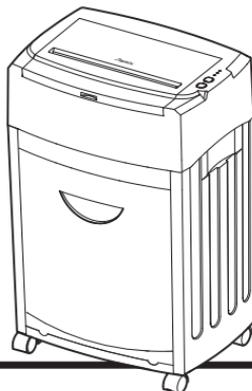


Asmix

マイクロカット オートフィードシュレッダー

品番 **SF602M/SAF602M** 取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。



説明書を読む

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」(1・2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障・不具合がありましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り・使用中に生じた故障・その他の不具合・使用によって受けられた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この製品は情報の復元・流出の防止を保証するものではありません。

仕様(50/60Hz時)

定格細断枚数	7枚	制 御 機 能	オートリバース機能、温度ブレーカー警告ランプ、過電流保護機構 手差し/オートフィード同時細断防止機構 細断屑満杯センサー マニュアルクリーニング機能	
最大細断枚数	8枚			
オートフィードセット枚数	300枚			
細断寸法	2×15mm マイクロカット		操 作 機 能	電源スイッチ、オートスタート&ストップ機能、自動停止安全スイッチ、逆転スイッチ、手動細断(オートフィードスタート)スイッチ、フィーダーカバースイッチ、マニュアルクリーニングスイッチ、細断屑満杯センサースイッチ
ダストボックス容 量	約34L	オートフィード細断時		
	手差し細断時 A4・7枚ずつ:約1015枚 A3・5枚ずつ:約 515枚	A3・1枚ずつ:約155枚	コードの長さ	約1.6m
使用時間	(定格)50分間	70分間	外形寸法 (突起部含まず)	W453×D325×H735mm
細断速度	約1.7/2.0m/分 手差し細断時1枚時		質 量	約21.1kg
使用電源	AC100V		付 属 品	取扱説明書、保証書
消費電力	220/240W			

※A4コピー用紙(64g/m²)タテ入れ時での数値です。

※外形寸法、質量は組み合わせ時での数値です。

※60Hzでは細断枚数が1~2枚少なくなる場合があります。

※細断枚数は環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。

※最大細断枚数は、10回連続で細断可能(約110/95秒間※50/60Hz時)な枚数です。(細断率90%以上)

長くご使用いただくために、定格細断枚数での細断をおすすめします。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター ☎050-3381-5100

受付時間:AM11:00~12:00/PM1:00~5:00 月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

2025年10月 第1版

安全上のご注意

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害・損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。	 注意 この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。
--	--

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

 この記号はしてはいけない「禁止」内容です。	 この記号は必ず実行していただく「強制」内容です。
--	--

警告



説明書を読む

ご使用の前に必ず取扱説明書をよく読む



可動部注意

内部に可動部がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。



可燃スプレー厳禁

エアダスター・殺虫剤等の
スプレーを絶対に使用しない
可燃性のガスに引火して
爆発する恐れがあります。



鋭利な角注意

内部に鋭利な角・縁がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。



100V以外禁止

交流100V以外の電圧で
使用しない
感電・火災の原因になります。



子供使用禁止

子供の手の届く所で
使用しない
けがをする恐れがあります。



分解禁止

絶対に
分解・修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
修理は販売店までお申し付けください。



手を入れるな

給紙口・排出口に
指を入れない
けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、
重い物を載せたり、束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。



衣類巻き込み注意

給紙口に衣類等を
近づけない
けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードが破損した時は
ご自身で修理しない
ショート・感電・火災の原因になります。
修理は販売店までお申し付けください。



髪の毛巻き込み注意

給紙口に髪の毛を
近づけない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

お手入れの時は
プラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。



装飾品巻き込み注意

給紙口に
装飾品等を近づけない
けがをする恐れがあります。



水ぬれ禁止

水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

注意



禁止

熱器具に近づけない
ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

紙が詰まった状態で電源を入れたまま放置しない
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

プラグをぬれた手で抜き差ししない
感電の原因になります。



プラグを抜く

細断屑を捨てる時・ダストボックスを引き出す時・使用後は、電源を切りプラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。



強制

プラグは根元まで確実に差し込む
感電・火災の原因になります。



強制

トレー開閉時・ダストボックスを入れる時は、指をはさまないように注意する
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

移動させる時は電源を切りプラグを必ず抜く
ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

細断中はダストボックスを引き出さない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

プラグを抜く時は電源コードを引っ張らずプラグを持って抜く
ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

湿気、水気のある所・直射日光の当たる所・屋外に設置しない
故障・感電の原因になります。



禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



禁止

不安定な所に設置しない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

しばらく使用しない時は電源を切りプラグを必ず抜く
事故・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードを束ねたまま使用しない
故障・火災の原因になります。



禁止

細断禁止物はいれない
故障の原因になります。
10/11号以外のステープラー針は必ず取り外して入れてください。

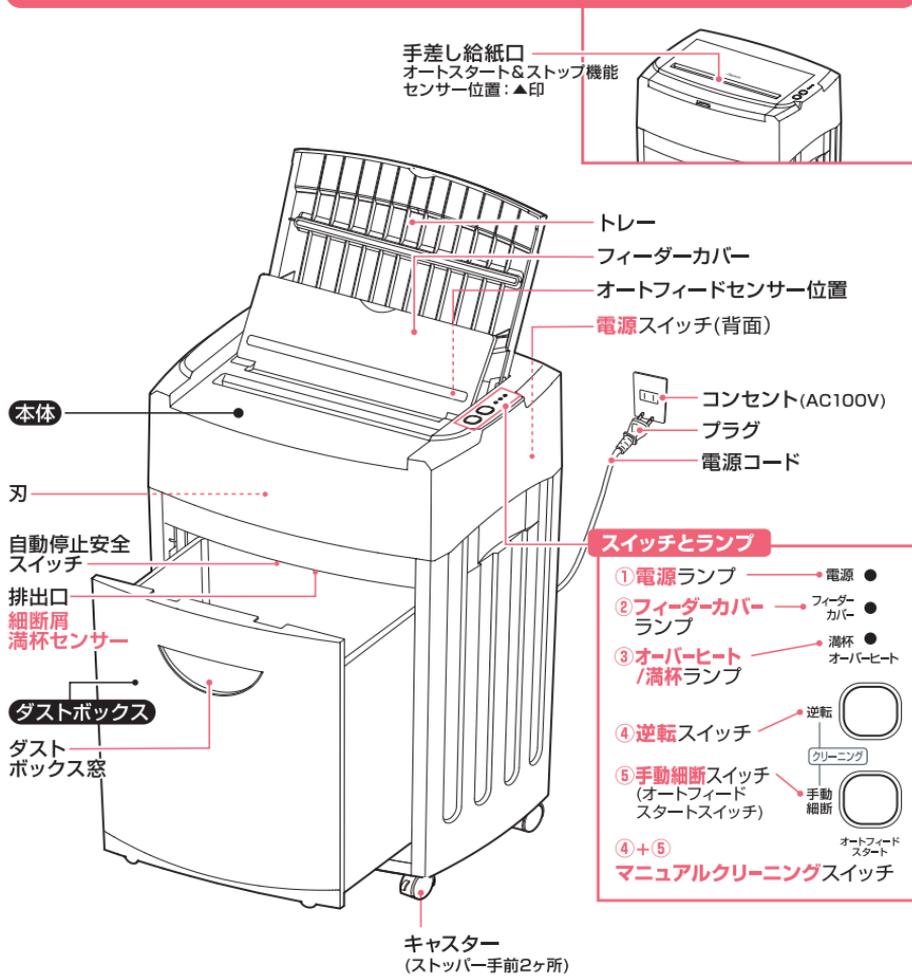


禁止

シンナー・ベンジンで拭いたり殺虫剤をかけない
ショート・感電・火災の原因になります。

各部の名称

細断検査のためダストボックスや刃に細断屑が残っている場合がありますが
あらかじめご了承ください



設置の仕方

- 移動時はプラグが抜けていることを必ずご確認ください
- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようにコンセントの周りに物を置かないでください

- ① 水平で安定した所に設置し、キャスターのストッパー（手前2ヶ所）をかけてください。
移動時以外は、キャスターのストッパー（手前2ヶ所）を必ずかけてください。
- ② ダストボックスを本体にしっかり入れてください。
 - 物・手を載せたままトレーを閉じないでください。
 - ダストボックスを入れる時は指をはさまないようにご注意ください。

スイッチと主な機能

<p>電源スイッチ 入/切 電源ランプ</p>	<p>電源スイッチを入にすると電源が入り、電源ランプが点灯します。 ●使用後は電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、電源を切ってください。 ●しばらく使用しない時・細断屑を捨ててる時・お手入れの時・ダストボックスを引き出す時・移動する時は、トレーを閉じて電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。</p>
<p>逆転スイッチ</p>	<p>電源ランプ点灯時に逆転スイッチを押している間、刃が逆転します。 細断を中止する時・詰まった紙が取り出せない時は逆転スイッチを押してください。</p>
<p>手動細断スイッチ (オートフィードスタートスイッチ)</p>	<p>電源ランプ点灯時に手動細断スイッチ(オートフィードスタートスイッチ)を押している間、刃が正転します。 オートフィード細断をご使用の場合、手動細断スイッチ(オートフィードスタートスイッチ)を押すと細断を開始します。P.8「オートフィード細断の仕方」参照</p>
<p>マニュアル クリーニングスイッチ (マニュアル クリーニング機能)</p>	<p>電源ランプ点灯時に、逆転スイッチと手動細断スイッチを同時に約4秒間長押しすると、刃のクリーニング(約15秒間刃が回転)を開始します。 ●途中でクリーニングを停止する時はトレーを開閉してください。 ●頻繁に紙が詰まる時は刃のクリーニングをしてください。</p>
<p>フィーダーカバーランプ フィーダーカバー スイッチ</p>	<p>フィーダーカバーランプが点灯したら ●オートフィード細断をしない時は、トレーを閉じてください。 ●オートフィード細断をする時は、フィーダーカバーをしっかりと起こしてください。 トレーが開き、フィーダーカバーが手前に倒れている時にフィーダーカバーランプが点灯します。</p>
<p>オーバーヒート/満杯ランプ</p> <p>細断屑満杯 センサー スイッチ</p> <p>細断屑満杯 センサー</p>	<p>オーバーヒート/満杯ランプが点滅したら、細断屑を捨ててください。 P.6「細断屑の捨て方」参照 (細断屑満杯センサースイッチがONの時)細断屑が満杯になると細断を停止し、オーバーヒート/満杯ランプが点滅して逆転後、停止します。</p>
	<p>満杯ではないのにオーバーヒート/満杯ランプが点滅して細断できない時</p> <p>電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてブラシ等で細断屑満杯センサー周辺に付着している細断屑を落としてください。 頻繁にオーバーヒート/満杯ランプが点滅して細断できない時は細断屑満杯センサースイッチをOFFにし、細断屑をこまめに捨ててください。</p>
	<p>細断屑満杯センサーON/OFFの切替え方</p> <p>①電源スイッチを入(フィーダーカバーランプ点灯)にし、トレーを開けてください。 ②フィーダーカバーは手前に倒したまま手動細断スイッチ(オートフィードスタートスイッチ)を約5秒間長押ししてください。 ●細断屑満杯センサーON:フィーダーカバーランプが点灯します。 ●細断屑満杯センサーOFF:フィーダーカバーランプが点滅します。</p>
<p>温度 ブレーカー</p>	<p>オーバーヒート/満杯ランプが点灯したら、電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約70分間休ませてください。 長時間使用した時・モーターに過度の負荷がかかり過ぎた時等、モーターの温度が上昇すると刃の回転が停止し、オーバーヒート/満杯ランプが点灯します。</p>
<p>オートリバース 機構</p>	<p>一度に多量の紙を入れたり、斜めに入れて細断屑が詰まると、刃が逆転して停止します。 P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照</p>
<p>手差し/オートフィード 同時細断防止機構</p>	<p>オートフィード細断中に手差し給紙口に紙を入れると、オートリバースします。手差し細断とオートフィード細断は同時に使用できません。</p>
<p>自動停止安全 スイッチ</p>	<p>ダストボックスが本体から離れた時、安全のため電源が切れ、電源ランプが消灯します。ダストボックスを本体にしっかり入れてください。</p>

手差し細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

以下の細断禁止物を 入れないでください

10/11号以外のステープラー針・ゼムクリップ・シールや運送会社の送り状等 粘着剤つきの紙・両面テープ・ダンボール・厚紙・和紙等の柔らかい紙・湿った紙・新聞紙・カーボン紙・ラミネートされた紙・ラベル、のり、フィルムがついた紙・透明の封筒や窓つき封筒・CD・DVD・ポリ袋 金属類・プラスチック類・布類・ビニール類



細断枚数をお守りください

- 一度に細断できる枚数(定格細断枚数)は A4 コピー用紙タテ入れ **7枚(60/60Hz)**です。
- 10/11号のステープラー針は定格細断枚数内で**手差し細断**が可能です。10/11号以外のステープラー針は必ず取り外して入れてください。
- 針なしステープラーを使用した紙はそのまま入れないでください。1枚ずつはぐし、枚数を確認してから入れてください。
- DMやカタログが入ったままの**厚い封筒**を入れしないでください。細断枚数過剰・細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に入れてください。
- 紙を折ったまま入れる時は枚数をご確認ください。



お願い

- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。
- 紙は給紙口の▲印に合わせて**まっすぐ**入れてください。
- 小さい紙は、給紙口の▲印の中心に合わせて**ヨコ向き**に入れてください。オートスタート&ストップ機能センサーが感知し、細断を開始します。
- 給紙口の幅より大きい紙は、**折って**入れてください。定格細断枚数を超えた枚数にならないようにしてください。



大きいまま入れない

- 通常の細断・続けて細断する時は定格細断枚数以内に入れてください。
 - 一時的に最大細断枚数の細断が可能です。長くご使用いただくために定格細断枚数以内での細断をおすすめします。
 - 最大細断枚数とは、10回連続で細断可能な枚数です。(細断率90%以上)
- 湿度が高い時・紙質により細断できない時は細断枚数を減らして入れてください。
- 続けて細断する時は**細断が完全に終わってから**次を入れてください。
- コンピューター用紙等の連続用紙は切り離して入れてください。
- 定格細断枚数を続けて**手差し細断**ができる時間(定格使用時間)は**50分間**です。オーバーヒート/満杯ランプが点灯した時は電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで**約70分間**休ませてください。
- 細断屑をこまめに捨ててください。**オーバーヒート/満杯ランプが点滅し、数秒間逆転後停止したら細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようにコンセントの周りに物を置かないでください

手差し細断の仕方

- ① プラグをコンセントに差し込み、**電源スイッチを入**にしてください。
電源ランプが点灯します。
- ② **トレーは閉じたまま紙を給紙口に入れてください。**
 - 紙を入れると細断を開始し、細断後停止します。
 - 手差し細断中にトレーを開けると細断が停止します。
- ③ 使用後は**電源スイッチを切**にしてください。
 - 電源ランプが消灯します。
 - しばらく使用しない時はプラグを必ず抜いてください。



手差し細断中に紙が詰まった時

- ① ダストボックスの細断屑を捨ててください。
P.6「細断屑の捨て方」参照
 - 電源スイッチを切**(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。
 - 捨てた後はダストボックスを本体にしっかり入れプラグを差し込み**電源スイッチを入**にしてください。
- ② **逆転スイッチ**を押しながら詰まった紙を取り出してください。
- ③ 刃のクリーニングをしてください。
P.4「スイッチと主な機能/マニュアルクリーニングスイッチ」参照
- ④ 紙を再度入れてください。
詰まった紙は細断枚数を減らし、**細断していない方向から、再度手差し細断をしてください。**



一度で取り出せない場合

逆転スイッチ・手動細断スイッチ(オートフィードスタートスイッチ)を繰り返し**交互**に押し、取り出してください。

- 繰り返し**交互**に押す時は、1秒間以上間隔を必ずあけてください。故障の原因になります。
 - 数回行っても取り出せない時は、故障する恐れがありますので、無理に取り出さないでください。
- 電源スイッチを切**(電源ランプ消灯)にし、プラグをコンセントから必ず抜き、P.10「保証とアフターサービス」をお読みいただいでから修理をお申し付けください。

細断屑の捨て方

- ① **電源スイッチを切**(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。
- ② ダストボックスを引き出し、細断屑を捨ててください。
- ③ 捨てた後、ダストボックスを本体にしっかり入れてください。
指をはさまないようにご注意ください。

奥まで
しっかり
入れる



ダストボックス容量 ※細断屑はこまめに捨ててください

【手差し細断】細断屑満杯センサーOFF時

A4タテ・7枚ずつ細断時:約**1015枚**、**A3タテ**・5枚ずつ細断時:約**515枚**

【オートフィード細断】細断屑満杯センサーON時

A4ヨコ・1枚ずつ細断時:約**300枚**、**A3タテ**・1枚ずつ細断時:約**155枚**

●細断屑が排出口まで溜まると故障の原因になります。

●細断屑満杯センサースイッチが**OFF**の時は、細断屑が満杯になってもオーバーヒート/満杯ランプが点滅しないため、細断屑はこまめに捨ててください。

オートフィード細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

**オートフィード細断
A3、A4、B5 コピー用紙専用です
それ以外の紙は手差し細断をしてください**

以下に表記のオートフィード細断禁止物
やオートフィードセット枚数以上を
入れないでください。

A3、A4、B5コピー用紙以外の紙・
色の濃い紙・オートフィードで詰まった紙・
オートフィードセット枚数以上のコピー用紙・
ステーブラーの針やゼムクリップがついた紙・
しわ、やぶれ、折ったままの紙・
湿気を含み重なった紙・乾いていない紙・
変形した紙・不揃いな紙



**オートフィードセット枚数を
お守りください**

- 一度にセットできる枚数(オートフィードセット枚数)は**A3、A4、B5コピー用紙300枚**です。
- オートフィードで**細断屑満杯センサーをOFFにして使用する場合は1枚ずつ細断**されるため、A4コピー用紙250枚程で細断屑が排出口まで到達します。そのまま細断を続けると故障の原因になるため、こまめに確認してください。
- オートフィード細断中は紙を**継ぎ足さず、トレーを動かさないでください。故障の原因になります。**
- 針なしステーブラーを使用した紙は**そのままセットしないでください。**
1枚ずつほぐし、枚数を確認してからセットしてください。

お願い

- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。
 - オートフィード細断中に、手差し給紙口に紙を入れるとオートリバースします。
 - 細断前の紙は細断停止を確認してからトレーにセットし直してください。
 - 詰まった紙は**細断してない方向から手差し細断をしてください。**
- 紙をトレーの奥に**まっすぐ差し込んで**ください。
- フィーダーカバーを**しっかり起こして**ください。トレーが開きフィーダーカバーが手前に倒れている時、フィーダーカバーランプが点灯し細断できません。



斜めに
入れない

- 湿度が高い時・紙質により細断されない時は手差し細断をしてください。
- 刃が逆転後停止し、紙送りされない場合はフィーダーカバーを手前に倒して紙が残っていないかご確認ください。
P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
紙を揃えてトレーの奥にしっかり差し込んでください。
- オートフィード細断ができる時間は**約70分間**です。オーバーヒート/満杯ランプが点灯した時は、電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで**約70分間**休ませてください。
- 細断屑は**こまめに捨ててください。**
オーバーヒート/満杯ランプが点滅し、数秒間逆転後 停止したら、細断屑を捨ててください。
P.6「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようにコンセントの周りに物を置かないでください

オートフィード細断の仕方

- ① トレーを開いてください。
- ② **揃えた紙**をトレーの奥にしっかり差し込んでください。
- ③ フィーダーカバーをしっかりと起こしてください。
- ④ **A3より小さい紙**は右側に寄せて入れてください。
オートフィードセンサーが右についているため右端が空いてると細断できません。
- ⑤ **電源スイッチを入**にしてください。電源ランプが点灯します。
- ⑥ **手動細断スイッチ**(オートフィードスタートスイッチ)を押してください。1枚ずつ紙送りされ、自動的に細断を開始し、トレーの紙がなくなると停止します。

トレーに紙がなくなり、紙を再セットする場合

フィーダーカバーを手前に倒し、**揃えた紙**をトレーの奥にしっかり差し込んでください。

- フィーダーカバーを起こすと数秒後 細断を開始します。
- 細断中やトレーに紙が残っている時は継ぎ足ししないでください。

- ⑥ 使用後はトレーを閉じ、**電源スイッチを切**にしてください。
 - 電源ランプが消灯します。
 - 指をはさまないようにご注意ください。
 - しばらく使用しない時はトレーを閉じ、プラグを必ず抜いてください。

紙は揃えて
奥まで
しっかり差し込む



A3より小さい紙は右側に
寄せて入れてください

オートフィード細断中に紙が詰まった時

- ① ダストボックスの細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
 - 電源スイッチを切にし(電源ランプ消灯)プラグを必ず抜いてください。
 - 捨てた後、ダストボックスを本体にしっかり入れ、プラグを差し込み、電源スイッチを入にしてください。
- ② トレーの紙を外し、**逆転**スイッチを数秒間押してください。
- ③ **電源スイッチを切**(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてからフィーダーカバーを手前に倒して詰まった紙を取り出してしてください。
- ④ フィーダーカバーを起こし、**電源スイッチを入**(電源ランプ点灯)にし、刃のクリーニングをしてください。P.4「スイッチと主な機能/マニュアルクリーニングスイッチ」参照
 - 一度で取り出せない場合はP.6「一度で取り出せない場合」参照
- ⑤ 詰まった紙は細断していない方向から、**手差し細断**をしてください。P.6「手差し細断の仕方」参照

お手入れの仕方

電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてから、乾いた柔らかい布で、乾拭きしてください。

- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を少しつけた布で拭いてから乾いた布で拭きとってください。
- シンナー・ベンジン・揮発性の液体は使用しないでください。ショート・感電・火災の原因になります。
- クレンザー等の研磨剤は使用しないでください。変質・変色の原因になります。

故障かな?と思った時

修理をお申し付けいただく前に取扱説明書をよくお読みの上ご使用方法をご確認ください

こんな時は	チェック	処置
刃が回転しない	電源ランプが点灯していますか?	電源スイッチを入(電源ランプ点灯)にしてください。
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	オーバーヒート/満杯ランプが点滅していませんか?	細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
	オーバーヒート/満杯ランプが点灯していませんか?	電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約70分間休ませてください。
	フィーダーカバーランプが点灯していませんか?	オートフィード細断をしない時はトレーを閉じてください。 オートフィード細断をする時はフィーダーカバーをしっかり起こしてください。
	ダストボックスが本体にしっかり入っていますか?	ダストボックスをしっかり入れてください。
	給紙口の▲印に合わせて入っていますか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
刃が回転しても細断しない	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	最大細断枚数を越えた枚数を入れていませんか?	細断枚数を減らしてください。
オートフィード細断で紙送りされない	紙がトレーにしっかり差し込まれていますか?	揃えた紙をトレーの奥にしっかり差し込んでください。
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	オートフィード細断禁止物を入れていませんか?	オートフィード細断禁止物を入れないでください。 P.7「故障の原因になるため絶対にお守りください」参照
	フィーダーカバーランプが点灯していませんか?	フィーダーカバーをしっかり起こしてください。
細断が途中で止まる	オーバーヒート/満杯ランプが点滅していませんか?	細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
	オーバーヒート/満杯ランプが点灯していませんか?	電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約70分間休ませてください。
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	紙を斜めに入れていませんか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
	給紙口の幅より大きな紙を入れていませんか?	給紙口の幅より大きな紙は折って入れてください。 折った時に定格細断枚数を越えた枚数にならないようにしてください。
	細断禁止物を入れていませんか?	細断禁止物を入れないでください。 P.5「故障の原因になるため絶対にお守りください」 P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
本体が熱い	オーバーヒート/満杯ランプが点灯していませんか?	電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約70分間休ませてください。
刃の回転が止まらない	紙がオートスタート&ストップ機能のセンサー位置にはさまっていませんか?	電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、はさまった紙を取り除いてください。
満杯ではないのにオーバーヒート/満杯ランプが点滅/細断しない	細断屑が細断屑満杯センサーについていませんか?	電源スイッチを切(電源ランプ消灯)にし、細断屑満杯センサー周辺に付着している細断屑を落としてください。 P.4「スイッチと主な機能/細断屑満杯センサースイッチ」参照
満杯なのにオーバーヒート/満杯ランプが点滅しない	細断屑満杯センサースイッチがOFFになっていませんか?	細断屑満杯センサースイッチをONにしてください。 P.4「スイッチと主な機能/細断屑満杯センサースイッチ」参照

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店まで下記の事項をできるだけ詳しくお申し付けください。

- ①故障状況 ②品番「SF602M/SAF602M」 ③ご購入年月日(保証書に記入されています。)

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・ご不明な点等はまずお買い上げの販売店までお申し付けください

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上 販売店からお受け取りください
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は「お買い上げの日より1年間です」
保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
※分解されますと、保証が無効になります。
- 修理を依頼される時はP.9「故障かな?と思った時」をご確認ください
それでも異常がある時は、使用をやめてお買い上げの販売店まで保証書を添え、
この製品を「お持込」の上、修理をお申し付けください。
 - 保証期間中は保証内容(修理規定)に従って修理させていただきます
 - 保証期間が過ぎ修理によりご使用できる場合には有料で修理させていただきます
- 出張修理は行っておりません
点検・修理の発送のために外箱・緩衝材を保管しておいてください。
- この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターまでお申し付けください

お願い 修理をお申し付けいただく時は付属品も一緒にお持込ください

- 便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のシュレッダーは点検を! ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、安全性を損なって事故につながる場合があります。
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。●電源コードに傷があったり、動かすと通電したり、しなかったりする。●異常な発熱・異音・異臭がする。 <p>故障や事故防止のために、電源スイッチを切にし、お買い上げの販売店まで修理をお申し付けください。</p>

保証内容 (修理規定)

- 取扱説明書・本体貼り付けラベル等の使用上の注意に従った使用方法で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで製品と本書とお買い上げが証明できる領収書やレシートを「お持込」の上、修理をお申し付けください。
(ロ) お送りいただく場合の梱包・輸送の費用等はお客様のご負担になります。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障・損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)等による故障・損傷。
(ニ) 車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店またはカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

マイクロカットオートフィードシュレッダー 保証書

持込修理

お客様	お名前	様		
	ご住所	〒		
	電話番号	()	—	
	お買い上げ日	年	月	日
販売店名・住所・電話番号				
印				
電話() —				

品名 マイクロカット
オートフィードシュレッダー
品番 SF602M/SAF602M
保証期間 お買い上げより1年間

〈販売店様へお願い〉
左記に記入及び捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日・店名等を証明する物をお貼りください。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター ☎050-3381-5100
受付時間: AM10:00~12:00/PM1:00~5:00
月曜日~金曜日
(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

保証書にご記入いただきました個人情報の取扱について

お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報(お名前・ご住所・電話番号)は保証期間内のサービスの目的にのみ利用させていただきます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲をこえて利用することはありません。業務上必要な範囲をこえて、個人情報を第三者(修理委託先は除く)に開示または提供いたしません。

修理メモ